

第43巻 第3号 予告

特集「地域保健医療の政策的動向」

地域保健医療の政策的動向	郡司篤晃
地域保健の政策的動向	中原俊隆
医療経済の政策的動向	府川哲夫
地域医療の政策的動向	宮城島一明
保健所・市町村での政策的動向	星 旦二

第43巻 第4号 予告

特集「医薬品の品質，有効性，安全性の確保」

編集後記

戦後間もなく保健所法が制定され、既に半世紀近くが過ぎようとしている。この間我国は、奇跡の復興を成し遂げ、今ではおもしろい経済大国となっている。これにともない我国の公衆衛生も格段に改善されてきている。

このような状況の下で、今号の特集である地域保健のあり方も大きく変わろうとしているが、それは正に、地域保健実践の中心的存在としての公衆衛生院のあり方の変化でもある。そのため、今号の読者の関心も高く、執筆者の諸先生方もそれに応えるために極めて熱のこもった寄稿を下されたように思われる。

このような地域保健、さらには衛生院のあり方の変化の是非の評価は、様々な観点から検討され時間をかけてなされる必要があると思われるが、一般論として、社会状況の大きな変化は、社会各層を巻き込み良くも悪くも人々に様々な影響を及ぼすが、社会的弱者と呼ばれる人々にその悪影響のしわ寄せがいつてきたのが歴史の常である。従って、今回の変化においてはそのような事ができるだけ少なくなるような配慮を欠かさないとといった観点が特に必要と思われる。今回の特集がそのような意味で、この問題を考える一助となれば幸いである。

池田 耕一 (建築衛生学部)